

質問回答書（企画提案書に関すること）

令和8年7月27日

業務名：鹿児島市立病院機能整備支援業務

番号	質 問	回 答
1	資料：仕様書（案）2 ページ 項目：4（4） 内容：院内プロジェクトチームは既存の組織と推察します。院内プロジェクトの構成メンバーならびに開催頻度についてご教授ください。	院内プロジェクトチームとは既存の組織で、再整備の主要な検討事項に必要な部署の職員（医師、看護師、医療技術者、事務局職員）全15名で構成しています。 プロジェクトチームは定期ではなく必要に応じて開催しており、R7年度は4回開催しています。
2	資料：企画提案書作成要領1 ページ 項目：1（1） 内容：枚数制限、記載する文字サイズについての制限はないとの理解でよろしいでしょうか。	貴見のとおりです。
3	資料：企画提案書作成要領1 ページ 項目：1（5） 内容：「2に示す順に項目を明記して作成するもの」とありますが、指定された記載項目を明記し、その順序に準拠した上で、提案内容の理解促進や二次審査における審査の視点との対応関係を分かりやすく示すことを目的として、提案者独自の補足項目を追加して構成することは可能でしょうか。	ご質問の構成で企画提案書を作成いただくことは差し支えありません。
4	資料：仕様書（案）1 ページ 項目：4（1）の①の※書き 内容：「ダウンサイジングとは再整備計画及び現設計で予定していた整備規模を縮小することを指し、医療法に基づき県知事の許可を受けた病床数（574床）は変えない」とありますが、本業務においては、合理性や業務目的との整合性が認められる場合であっても、許可病床数の見直しを前提とした提案は対象外であるとの理解でよろしいでしょうか。	貴見のとおりです。ただし、許可病床数（574床）を変えない範囲での病床再編（診療科間の病床数の入れ替え）は可とします。
5	資料：仕様書（案）1 ページ 項目：4（1）の① 内容：「稼働状況調査で示される課題等に対し、対応策（当院が整備すべき機能の優先順位、ダウンサイジング視点での適正な整備規模等）を立案すること」とあります。これは7年度鹿児島市	貴見のとおりです。

	立病院医療需要調査等業務委託（以下「医療需要調査という。」）及び8年度鹿児島市立病院稼働状況調査等業務委託（以下「稼働状況調査」という。）の結果に基づいて対応策を立案するとの理解でよろしいでしょうか。	
6	資料：仕様書（案）2 ページ 項目：4（2） 内容：電気通信設備の提案に当たり次の事項を教えてください。 ① 既存のナースコールシステムサーバの設置場所 ② ①の更新予定 ③ 既存の電話交換機の設置場所 ④ ③の更新予定	① 既存棟2階、事務局近くのサーバー室内にあります。 ② 令和5年度に導入した院内スマホの更新に合わせて今後検討する予定です。 ③ 既存棟2階、事務局近くの電話交換室内にあります。 ④ 令和5年度に導入した院内スマホの更新に合わせて今後検討する予定です。
7	資料：委託契約に係る仕様書P1 項目：4業務の概要（1）② 内容：各案の全体工事費の試算は現在の情勢から推測される概算比較としてよろしいでしょうか。	貴見のとおりです。
8	資料：委託契約に係る仕様書P2 項目：4業務の概要（2） 内容：ハード面の調査は再整備計画見直しに係る機能整備方針策定提案に必要とされる範囲と考えてよろしいか。	ハード面調査は、既存建物・設備の配置状況や改修可能性、設備上の制約条件、ゾーニング検討に影響する事項等を把握し、再整備計画の見直し及び機能整備方針の検討・提案をするために必要な調査を想定しており、施設保全のための調査は対象外と考えています。